

平成 21 年 4 月 20 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2006～2008
 課題番号：18520133
 研究課題名（和文）浮世絵のリレーショナルデータベース化—初期浮世絵の文字情報の解明—
 研究課題名（英文）Information on the early ukiyoe is stored in relational database

研究代表者
 武藤 純子（MUTO JUNKO）
 清泉女子大学・文学部・講師
 研究者番号：50424304

研究成果の概要：本研究は、初期浮世絵の絵柄に記されている、文字情報、たとえば発句や版元印などを読み取り、データベース化し、絵と文字のさまざまな関係を読み取ることであった。これまで曖昧だった初期の浮世絵師の作画状況、版元の変遷、文学や歌舞伎との関係など、少しずつではあるが明らかになった。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,400,000	0	1,400,000
2007年度	900,000	270,000	1,170,000
2008年度	1,100,000	330,000	1,430,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	600,000	4,000,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：近世文学・浮世絵

1. 研究開始当初の背景

これまでの主なる研究方法は、人文学のなかでも、美術・美学研究者による浮世絵研究が主流で、時に実証性に欠ける研究が見受けられた。よって、国文学を専攻した者が浮世絵の研究をする意義は大きいと思われた。

2. 研究の目的

当初の研究目的は、研究成果を論文にまとめるとともに、その内容を国内外の研究者に公開することであった。

3. 研究の方法

図書、カタログ、WEBで調査するとともに、実際に国内外の美術館、博物館、図書館へ赴き、調査研究および情報交換を行った。

4. 研究成果

浮世絵師や版元の研究は、最新の情報を『浮世絵大事典』に織り込むことができた。また、アメリカ、ボストン美術館のデータベース化に協力し、これまでのデータを訂正し、最新の情報に更新することができた。今後こうした協力は重要と考える。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 件)

[学会発表] (計 件)

[図書] (計 3 件)

武藤純子編集委員・執筆者、国際浮世絵学会編、東京堂出版、浮世絵大事典、2008年、654頁

武藤純子分担執筆、松涛美術館編、ミネアポリス美術館図録 Great Ukiyo-e Master、松涛美術館、2007年

武藤純子分担執筆、諏訪春雄・山折哲雄・芳賀徹・小松和彦監修、東京書籍、日本古典への誘い 100 選、2007年、435頁

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

○取得状況 (計 件)

[その他]

6. 研究組織

(1) 研究代表者

武藤 純子
清泉女子大学・文学部・講師
50424304

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者